

「すべての命を守るため」

フランシスコ・ローマ教皇が11月23日から25日に来日をし、24日には被爆地である広島と長崎を訪れ、核廃絶を訴え、「核兵器のない世界を実現することは可能であり必要不可欠」「真の平和は非武装の平和以外にあり得ない」として、核兵器や大量破壊兵器の保有や核による抑止を否定しました。そして、「武器の製造や維持はテロ行為」「戦争はもういらぬ」と叫ぶよう呼びかけました。

25日には東京で、いまだに核兵器禁止条約の批准をしていない日本に対して、「広島と長崎に投下された原爆の破壊が二度と繰り返されないように必要なあらゆる仲介を進めてください」と核廃絶に向けた取り組みを呼びかけました。

先日、千葉の幕張では、「非核3原則撤廃」の元「武器見本市」が開かれました。子どもたちの将来のこと、この先のことを思うと本当に恐ろしく、心配になってきました。

こうしたタイミングで訪れた教皇の、世界平和へのメッセージは本当にごく当たり前であり、とても大切なことだと思います。

「各国、各民族の文明は経済力ではなく、困窮する人にどれだけ心を砕いているか、そして出生率の高さと命を育む能力があるかによって測られる」「地球を搾取するための所有物ではなく、次の世代に手渡すべき貴重な遺産として見るよう求められている」と訴えられました。子どもたちの未来のために一人ひとりが考えることと、このメッセージを今の政治に求めます。



公定価格（保育所運営費）の土曜日分の減算をしないように求めます

国の子ども・子育て会議において、保育所の運営費である公定価格から土曜保育の公定価格を減算するという方向で提案されているということが明らかになりました。これは保育所のみで、幼稚園は週休2日を前提で保育所より公定価格が高く設定されている一方で、保育所には土曜保育の開所を求めつつ、土曜日は利用者が少ないからその分は減算という矛盾した内容のものです。これが実施されるとますます厳しい保育所運営となることと合わせ、職員の週休も保障できなくなってきてしまいます。

子どもたちの保育の質を上げること、職員が働く環境を良くすることが出来るよう国に対して声を上げて行く行動を作って行きたいと考えています。

父母の皆さんもご協力をお願いします。



保育をよくする署名、目標を超えて3,500筆を超えて達成！

安心・安全な保育環境の実現、認可保育所の整備による待機児解消、保育士の処遇改善を求める署名運動へのご協力ありがとうございました。

保育運動部が中心となり、楽しく取り組める工夫もしながら進めてきた保育署名が目標の2,000筆を超え3,517筆達成しました。一人ひとりが力を合わせてやって来た成果です。これからも子



どもたちのために力を合わせてより良い保育環境づくりをしていきましょう。